

JICA「環境社会配慮ガイドライン」 改定案パブリックコメントに向けた NGO/CSO向け勉強会

共催：関西NGO協議会、国際協力NGOセンター、名古屋NGOセンター



■ 日時 ■

2021年7月2日（金）
15:00-17:00

■ 形式 ■

オンライン開催

■ お申し込み ■

[こちらをクリック](#)
(開催直前まで受付)

■ お問い合わせ ■

関西NGO協議会
(担当：高橋)

miwako.takahashi@kansaingo.net

06-6377-5144
(火～金、13:00-16:00)

■ 登壇者 ■

織田 由紀子

日本女性監視機構 (JAWW) 副代表

木口 由香

メコン・ウォッチ 事務局長/理事

田辺 有輝

「環境・持続社会」研究センター プログラム・ディレクター

日比 保史

コンサベーション・インターナショナル・ジャパン 代表理事

2010年4月に公布された[JICA環境社会配慮ガイドライン](#)は、援助の実施にあたって環境や人権を含む社会への配慮を行うことを定めたものです。施行後、10年が経過し、JICAは2020年8月にガイドライン及び異議申立手続要綱の改定に係る助言を行うことを目的とした「[JICA環境社会配慮ガイドライン改定に係る諮問委員会](#)」(学識経験者、NGO、民間企業/団体、政府関係者で構成)を設置し、改定に向けた協議が行われています。また、本年7月以降、同ガイドラインの改定に向けたパブリックコメントの実施が予定されています。

諮問委員会の記録は公開されており、NGO-JICA協議会などを通じてJICAから情報提供がされるものの、NGO/CSOに本ガイドラインの内容やその役割が十分に知られているとは言えません。今回は、上記委員会のNGO委員に登壇いただき、ガイドラインの内容やその役割、また、改定のポイント、NGO/CSOとして留意すべき点について説明をいただくことで、NGO/CSO側の関心を高め、さらに、パブリックコメントへの参加を広く呼び掛けるものとしします。